

読書は乱読気味。若い頃は外国文学に親しむことが多かったが、外国の作家とは体質的に エネルギーのちがいを自覚させられ、しだいに日本文学に回帰する。

習作時代に、創作のうえでとりわけ影響を受けたのは志賀直哉と川端康成である。志賀直哉の表現の厳しさにはまったく脱帽したし、川端康成には生い立ちも似ていて、体質的にも相通づるものがあり、天性としかいいようのない繊細で華麗な文体に魅了された。

他に好きな作家は、ドストエフスキー、ブルースト、スターン、ブコウスキー、トゥーサン、夏目漱石、永井荷風、谷崎潤一郎、井伏鱒二、大岡昇平、島尾敏雄、安岡章太郎、大江健三郎、古井由吉等。

作風は概して私小説的な色彩が濃いが、今後はこれまでの作風を基本に置きつつ少しずつ作品の幅を広げていきたいと思っている。